



新庁舎建設 現場レポート



新庁舎の建設工事は、着工から4カ月が経過しようとしています。

今回は、これまでの工事の進捗よくについてお知らせします。

9月の着工から12月まで、井戸工事、杭工事を行い、現在、基礎工事を進めています。

進捗率は全体の約15%となります。

◀ 10月7日現在：造成・井戸工事の様子

■井戸の活用

新庁舎建設では、建物の東側に深さ70mの井戸を3本掘削しました。

地下水の温度は、一年を通して約15℃と安定しており、夏は外より冷たく、冬は温かいことから、一般的な空気を熱源とするエアコンよりも効率的に熱交換ができます。

この地下水を利用した地中熱交換システムを活用することにより、空調システムの約15%のエリアをカバーし、建物にかかる消費電力を削減することができます。

また、トイレの洗浄水や建物周りへの散水にも活用し、環境にやさしい庁舎を目指します。



▲ 12月3日現在：基礎工事の様子

- 拉致問題対策本部 HP (<https://www.rachi.go.jp/>)
- 公式 youtube チャンネル (<https://www.youtube.com/c/rachitaichannel>)
- 拉致問題対策本部 Twitter (<https://twitter.com/rachitaisaku>)



拉致問題
対策本部HP



公式 youtube
チャンネル



公式 Twitter

◇ 拉致問題については政府の次のリンク先をご覧ください。

北朝鮮当局による拉致問題は、現在も続く重大な人権侵害です。一日も早い解決のために、一人一人が関心を持ち、認識を深め、世論を盛り上げていくことが大切です。皆さんも、ぜひ関心をもって、一刻も早い拉致問題解決にご協力ください。

北朝鮮による
日本人拉致問題